



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課 R1.12.4

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、紀の川市母子寡婦福祉連合会桃山支部の皆さんが視察見学に来られ、当事務所の流水調整課2名が、見学のご案内をいたしました。紀の川大堰の概要説明から始まり、館内や展望デッキ、魚道観察室をご案内いたしました。師走に入り、紀の川を一望できる3Fの展望デッキにも冷たい風が吹き、冬らしい寒さが感じられるようになってきました。

🦌 団体見学概要 🦌

日時：令和1年12月4日(水)13:30~14:30

会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：30名

団体名：紀の川市母子寡婦福祉連合会桃山支部



紀の川大堰概要説明



まず最初に流水調整課の専門員が、スライドを用いて、紀の川の概要や紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

皆さん、スライドと配布した紀の川大堰の資料を見ながら紀の川の歴史や利水、治水、環境などに関してお勉強されました。



魚道の見学



魚道では、大きな魚が、群れを成して泳いでいる様子を見ることができました。

「鯉、うじゃ うじゃ いてらして～」

「大きな鯉やな～
90cmぐらいあるわ～」

など、ふだん見ることのない大きな魚にびっくりされていました。



ここからの景色
もいいわして～



魚道観察室の見学



へばりついてるの
タニシ？

階段式魚道を横から見るができます。



館内の見学・展望デッキ



2Fの操作室へ向かいます。



2Fの操作室、3Fの展望デッキをご案内しました。
冬晴れのきれいな青空が広がっていました。



窓越しからの操作室



質問

Q.紀の川は、どこから流れていますか？
また紀の川の長さはどれぐらいあるのですか？

A.奈良県の大台ヶ原からです。
全国でも有数の多雨地帯として知られています。
紀の川は全延長約136kmで、日本で27番目に長い川です。

